

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403015

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町交通安全協会補助事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	交通人身事故発生件数		#N/A	
事業目標	0件	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 地域の要望により資材配布を行っている。	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	
	各自治会の交通安全担当者で構成しており、各地域の要望により交通安全資材の配置や、新入学児童に対する交通安全啓発資材の配布を行っている。						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	750	150	150	150	150	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	750	150	150	150	150
実 績 事 業 費	事業費(千円)	750	150	150	150	150	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	750	150	150	150	150
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安全啓発活動を実施している。 (20年人身事故件数5件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安全啓発活動を実施している。 (21年人身事故件数8件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安全啓発活動を実施している。 (22年人身事故件数4件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安全啓発活動を実施している。 (23年人身事故件数4件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安全啓発活動を実施している。 (24年人身事故件数8件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%
		全体達成率	20%	40%	60%	80%	100%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	

事業名	雄武町交通安全協会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	人身事故発生件数
【抱える課題やニーズは】	人身事故や物損事故は減少傾向にあるものの、依然として発生している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交通事故発生件数のさらなる減少。	① 人身事故発生件数	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現する。		目標値 0件
			実績値 8件
			達成度 #DIV/0! %
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	交通事故の無い町を目指す上では地域に根ざした活動が重要であり、その実践団体の安定運営のため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	交通人身事故発生ゼロは達成できなかったものの、各地域で交通安全運動に取り組むことにより町民の意識向上が見られ、平成24年度中の事故発生件数は若干増加したが、中長期的には事故発生件数が減少傾向にある。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	関係諸団体や警察と連携して事業を実施することで事業費抑制に努めており、効率的な事業展開が行われている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全体を対象とした各種交通安全事業を実施していることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
昨年に引き続き死亡交通事故が発生したため、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした各種啓発活動を推進した結果、町民の交通安全に対する意識の高揚が図られている。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
交通事故の無い町を実現するため、事業を継続する。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止